

飽田南小150周年への道

～飽田南小の「むかし」と「いま」を伝えていきます～

飽田南小学校は、本年（令和8年）が創立150周年となります。節目の年を迎えるにあたり、その歴史や遺産、現在の飽田南校区の様子など調べたことをここで紹介できたらと思います。昨年2号まで出して途絶えていましたが、再開します。 文責：松永（飽田南小校長） R8/5/15

③藤富（ふじどみ）の頃

- 藤富尋常小学校（明治22年～）
- 藤富尋常高等小学校（大正12年～）
- 藤富国民学校（昭和16年～）
- 藤富小学校（昭和22年～30年）

明治22年に、護藤村と会富村が合併し、藤富村が誕生します。

そこで、小学校名も護藤簡易教場から名前を変え、藤富村立藤富尋常小学校となりました。

その後、明治29年に飽田・託麻両郡が合併して飽託（ほうたく）郡となったので、飽託郡藤富村立藤富尋常小学校に、さらに大正12年に、飽田南部高等小学校が廃校になったのに伴い、高等科ができ、藤富尋常高等小学校となったようです。（飽田南部高等小学校跡の石碑は学校の北西に残っていますね）

校長室に「藤富尋常高等小学校」の校旗が残っています。きれいな状態ですが、上から考えると大正12年～昭和15年の間に作製されたものと考えられますので、少なくとも86年以上経っている貴重なものです。後世に残したいですね。



藤富尋常高等小学校 校旗



飽田南部高等小学校跡 石碑

その後、昭和30年に飽田村ができ、飽田村立飽田南小学校となったのに伴い、66年間使用された、「藤富」の名前は小学校名から消えることとなりました。